



西は一重!
東は二重!!



1576年、珠洲の
豊漁原は上杉軍
から村をゆたため
に松本藩と
松本藩をゆたため
に松本藩と
松本藩をゆたため
に松本藩と
松本藩をゆたため
に松本藩と

こっそり
工芸士さん達に おしえてもらった、
いしかわの伝統工芸トリビア

石川県には、伝統的工芸品が、**36業種**
あり、この実演会でも 9業種 21名の
工芸士さんに、そのすばらしい技を披露していただきました。
今号では、この実演会を通して工芸士さん達に
教えていただいた**“いしかわの伝統工芸トリビア”**も、
お伝えしたいと思います。旅のおみやげ話に、

飲み会でのちよとした小ネタに、ご活用いただけたら、幸いです😊

いしかわけんくん

兼六園で注目! **檜笠**

檜細工の産地は金沢市から白山方面に車で30分
行った**鶴来町**にあります。その代表的な作品である
檜笠は、たいへん風通しが良く、雨が降ると**んごが**
湿気を含んで膨らみ、雨を通さない優れたものです。

その高性能ゆえ、作られた先から売れるため、石川県民でさえ、
なかなかお目にかかれない**幻の高級笠**でもあります。

そこで、確実にこの檜笠にお目にかかれる場所を紹介しましょう。

それは、あの**兼六園**。と言ってもお土産屋さんではありませんよ。
日本三銘園の草木や川の石をお手入れしている作業員さん達の
がぶっている**笠こそ、檜笠**です。次回兼六園へ
行かれた際は、是非、作業員さんの笠にも注目し
みて下さいね!!



応仁の乱のころのお話し。
加賀国に浄土真宗がたまった後、
農民らによる**“加賀一向一揆”**を機に、
真宗門徒による自治団体制が、約100年に
渡って行われていました。これが、前田加賀藩
以前の加賀地方が**“百姓の持ちたる国”**と
呼ばれた理由です。

そのため、石川県では浄土真宗が深く根付いており、
仏壇も浄土真宗様式が多く、県内にはなんと、
産地が3ヶ所もあります。(金沢仏壇、美川仏壇、七尾仏壇)そして、
そんな浄土真宗の仏壇には、西本願寺スタイルと東本願寺スタイルが
その見分け方はなんと!!
仏壇のお屋根が一重のものが西、二重のものが東かどうか。ほ、ほ、
夏の休暇中にお仏壇にお参りする時は、是非そのお屋根がどちらか、
チェックしてみてくださいね。

ネズミの脇毛と漆の関係

蒔絵で細部の模様を描くのに、ネズミの脇毛が最も適しているそうです。
それも、木舟に住むネズミの脇毛。野原やコンクリートの間を駆け回ること
がないため、毛先がしっかりと残っており、たっぷり漆を浸けても、
細く盛りの良い細毛が描けるそうです。蒔絵の作業にネズミの脇毛が
良いとたどり着くまでに、いろいろな動物の毛を試したのだでしょうね。
他にもウサギや、イタチの毛が多く使用されているそうです。どの部分かは...
工芸士さんにきいてみるのもたのしいかもしれませんね。

